

TTC スペクトル管理 SWG 寄書

平成 16 年 3 月 4 日
ソフトバンク BB(株)JJ100.01 第 3 版へ向けた提案事項

現在，国内 DSL ユーザー数は 1000 万を超えるに至った．今後は，既存ユーザーの利益を損なわないスペクトル管理が最重要事項であると考え，弊社は，スペクトル管理標準 JJ100.01 第 3 版へ向けて，以下の事項を検討項目として提案する．

1. 保護されるシステムについて

現行の第 2 版においては，G.992.1 Annex A/C のいくつかの方式が，FDM を代表システムとしてグルーピングされている（表 1）が，各方式ユーザーの利益確保のため，それぞれの方式を保護システムとすること提案する（表 2）．

表 1 JJ100.01 第 2 版での保護システム（JJ100.01 表 6.1 より抜粋）

No.	同じグループ内の各システム	代表システム
1	・ ISDN (G.961 Appendix III、 JT-G961)	ISDN (G.961 Appendix III、 JT-G961)
2	・ G.992.1 Annex A (FDM) ・ G.992.1 Annex A (sOL) クラス A 仕様	G.992.1 Annex A (FDM)
3	・ G.992.1 Annex C DBM (FDM) ・ G.992.1 Amendment 1 Annex C profile 5 (XDD) ・ G.992.1 Amendment 1 Annex C profile 6 (XOL) ・ G.992.1 Annex C DBM (OL) クラス A 仕様	G.992.1 Annex C DBM (FDM)
4	・ G.992.2 Annex A (FDM)	G.992.2 Annex A (FDM)
5	・ G.992.2 Annex C DBM (FDM)	G.992.2 Annex C DBM (FDM)

表 2 JJ100.01 第 3 版での保護システム

No.	保護されるシステム
1	ISDN (G.961 Appendix III、 JT-G961)
2	G.992.1 Annex A (FDM)
3	G.992.1 Annex A (sOL) クラス A 仕様
4	G.992.1 Annex C DBM (FDM)
5	G.992.1 Amendment 1 Annex C profile 5 (XDD)
6	G.992.1 Amendment 1 Annex C profile 6 (XOL)
7	G.992.1 Annex C DBM (OL) クラス A 仕様
8	G.992.2 Annex A (FDM)
9	G.992.2 Annex C DBM (FDM)

2. 保護判定基準値について

DSL にとって主たる干渉源である TCM-ISDN の影響を甘受し、同程度の干渉をよしとする新方式導入は、国内 DSL マーケットの普及状況を考えると、一層のスペクトル汚染をもたらすと考えられる。強いては、最終的に、DSL ユーザーの利益を損ない、DSL マーケット自体が縮小しかねない。

そこで、表 2 に示される保護システムに関する保護判定基準値を求める際、TCM-ISDN を与干渉源としての計算対象から除くことを提案する。つまり、TCM-ISDN は、保護システムであるから被干渉システムとして保護判定基準値の計算を行い、与干渉源として他の保護システムへの干渉計算を行わないクラスとする。

3. 緩和値等の付加条件について

上記提案に基づく保護判定基準値での新方式導入については、緩和値等の付加条件に関して、当スペクトル管理 SWG で議論のもと、導入を検討するプロセスを盛り込むことを提案する。

以上

連絡先：ソフトバンク BB(株)
吉井 伸一郎
e-mail: syoshii@softbank.co.jp
TEL: 03-5641-3039